

# 水稻の生育状況と今後の管理対策（第 10 号）

令和元年 9 月 5 日  
新潟県農林水産部

## 〔要約〕

### 生育状況

- ◎ コシヒカリの収穫適期は、県平均で平年より 3 日早い 9 月 9 日の見込みです。
- ◎ こしいぶきなどの早生品種は、すでに収穫期を迎えています。

### 今後の管理対策

- ◎ コシヒカリは、出穂後の気温が高く推移してきたことから、登熟の進みが早まっています。早めに籾の黄化率を確認し、適期に収穫しましょう。なお、地域別の収穫適期については、地域の技術情報を参照してください。
- ◎ 早生品種は、晴れ間を逃さず、できる限り速やかに収穫しましょう。
- ◎ 収穫直前のフェーン現象は、胴割粒の発生を助長します。低水分の籾は、送風温度を低めに設定し、胴割粒の発生を防止しましょう。
- ◎ 未熟粒や着色粒・その他未熟粒が多い場合は、1.9 mm 以上の篩い目（ふるいめ）<sup>\*1</sup> や色彩選別機で調製し、整粒歩合を高めて 1 等級の品位に仕上げましょう。

\*1 篩い目：米粒を機械選別する際に使用する網目の大きさ。

### 〔9 月 4 日現在の生育〕

- コシヒカリは、7 月下旬から 8 月中旬頃までの高温と、台風 10 号のフェーン現象による著しい高温により、平年に比べて登熟の進みが早まっています。
- こしいぶきなどの早生品種は、すでに収穫期を迎えています。

### 〔今後の生育見込み〕

- 8 月 27 日発表の 1 か月予報（8 月 31 日から 9 月 30 日まで）によると、気温は平年より高い、降水量は平年並か多い、日照時間は平年並か少ない見込みです。そのため、収穫適期が早まると見られます。
- コシヒカリの収穫適期は、平年より出穂期が早まり、出穂後の気温も高めに推移してきたことから、県平均で平年より 3 日早い 9 月 9 日の見込みです。

## [当面の管理対策]

- コシヒカリは、早めに籾の黄化率（黄化した籾の割合が85～90%がめやす）を確認し、適期を逃さず収穫しましょう。なお、地域別の収穫時期については、地域の技術情報を参照してください。
- 刈り遅れは胴割粒の発生や穂発芽を助長します。こしいぶきなどの早生品種は、晴れ間を逃さずできる限り速やかに収穫しましょう。
- 乾燥作業は、毎時の乾燥速度が0.8%以下になるよう設定して行いましょう。なお、青未熟粒の混入が多く、水分のバラツキが大きい場合は、胴割粒が発生する可能性があります。籾の水分が18～20%まで低下したら一旦乾燥を停止し、半日程度貯留し、水分ムラを解消した後に適正水分まで再乾燥しましょう。
- 収穫直前のフェーン現象などで籾の水分が急激に低下すると、胴割粒の発生率が高まります。低水分の籾は、毎時の乾燥速度が0.5%以下となるよう乾燥機の送風温度を低めに設定し、胴割粒の発生を防止してください。
- 未熟粒や着色粒・その他未熟粒が多い場合は、1.9mm以上の篩い目や色彩選別機で調製し、整粒歩合を高めて1等級の品位に仕上げましょう。
- 収穫作業時のコンバインの転倒・転落や衣服・軍手などの動力部への巻き込みに注意しましょう。また、1人で作業する場合は、家族などへ行き先を告げるとともに、緊急時に連絡がとれるよう、携帯電話を身につけておきましょう。

## 〔補足資料〕

### 1 農業普及指導センターにおける生育状況

○ コシヒカリの稈長は指標値（生育のめやす）並です。出穂後 15 日及び 25 日の葉色は、ともに指標値より濃く推移しています（表 1、図 1）。

#### 農業普及指導センターのコシヒカリ生育調査ほ結果

表 1 県内全域のコシヒカリ生育調査ほ調査結果

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
稈長 (出穂後 15 日)	89 cm	91 cm	並	98%
出穂後 15 日葉色 (SPAD 値)	31.3	31.0	並	+0.3
出穂後 25 日葉色 (SPAD 値)	27.3	27.3	並	+0.0

注) 県内 15 か所に設置した生育調査ほの平均、田植日 5/11、栽植密度 17.5 株/坪。

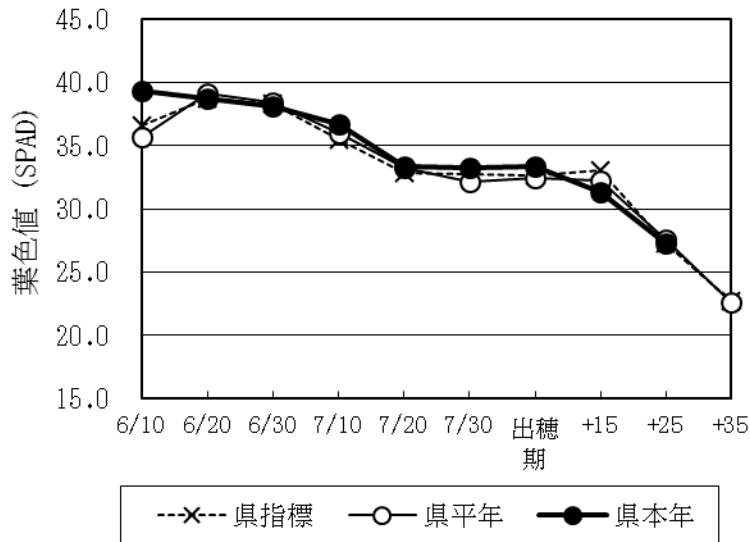


図 1 生育調査ほコシヒカリの葉色推移

## 2 積算気温からみた収穫適期のめやす

- 収穫適期の出穂後積算気温は、出穂後5日から24日までの日平均気温の平均値が26℃以上の地域では通常より50℃早めます。出穂後の積算気温は、平年より3日程度早い見込みです。地域の気象条件や登熟速度などを十分に把握して、刈遅れによる玄米品質の低下を防ぐため、早めに籾の黄化率を確認して適期に収穫しましょう。（表2、表3）
- 平年に比べ、平均気温は、8月第5半旬以降やや低く推移し、日照時間は8月4半旬以降少なく、降水量は8月4半旬以降多くなっています（表4）。

表2 収穫適期のめやす

熟期	品種	出穂後積算気温（℃）	
		高温年	平温年
早生	こしいぶき、ゆきん子舞、わたぼうし、五百万石等	925	975
中生	コシヒカリ、こがねもち	950	1000
晩生	越淡麗	950～1000	1000～1050

注1）出穂後積算気温は、出穂期の翌日から起算する。

注2）高温登熟年の判断のめやす

- ①出穂後5日から24日までの日平均気温の平均値が26℃以上（基部未熟粒の多発生）
- ②出穂後0日から19日までの日平均気温の平均値が27℃以上（立毛胴割れ多発誘起）

表3 出穂後の積算気温

品種	年度	出穂期	出穂後積算気温（℃）	
			950	1,000
コシヒカリ	本年	8月3日	9月9日	9月11日
	平年	8月5日	9月12日	9月14日

注1）出穂期は普及指導センター調査の県平均。

注2）温度はアメダス村上、新潟、長岡、十日町、上越、相川の6か所の平均値を用いた。

注3）本年の出穂後積算気温は9月3日までは本年値、4日以降は平年値を用いて算定した。

注4）平年の出穂後積算気温はアメダス村上、新潟、長岡、十日町、上越、相川の6か所の過去8か年の平均値を用いて算出した。

表4 気象の推移 (アメダスデータ)

観測 地点	月半旬	平均気温 (°C)		日照時間 (時間) (%)		降水量 (mm)	
		本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年差
新潟	7月第5半旬	27.1	1.6	24.5	80	4.5	-21.0
	7月第6半旬	28.8	2.4	38.3	94	13.0	-9.9
	8月第1半旬	28.9	2.1	63.4	180	0	-19.2
	8月第2半旬	29.6	2.8	53.1	150	0	-20.8
	8月第3半旬	30.6	3.9	58.6	165	0	-22.2
	8月第4半旬	27.6	1.2	25.0	72	35.5	12.5
	8月第5半旬	25.1	-0.9	17.9	53	81.0	58.0
	8月第6半旬	24.0	-1.6	26.1	67	60.5	31.7
長岡	7月第5半旬	27.1	1.8	22.2	78	13.0	-15.8
	7月第6半旬	28.7	2.6	36.3	96	21.5	-2.0
	8月第1半旬	29.5	3.1	58.6	181	0	-17.9
	8月第2半旬	29.7	3.3	51.9	161	0	-22.0
	8月第3半旬	30.8	4.6	55.1	172	0	-26.2
	8月第4半旬	27.7	1.8	20.0	64	35.0	9.0
	8月第5半旬	24.6	-0.9	10.8	36	127.0	103.0
	8月第6半旬	23.7	-1.3	21.8	64	88.0	60.0
高田	7月第5半旬	27.0	1.4	18.1	62	1.5	-25.1
	7月第6半旬	28.6	2.1	39.0	100	16.5	-4.7
	8月第1半旬	29.0	2.2	53.9	162	0	-15.7
	8月第2半旬	30.0	3.2	55.1	169	0	-18.5
	8月第3半旬	31.1	4.5	45.9	143	0	-24.1
	8月第4半旬	27.9	1.6	23.9	76	79.5	50.6
	8月第5半旬	24.5	-1.4	14.7	49	79.5	50.1
	8月第6半旬	23.9	-1.5	20.6	59	102.0	68.7